

令和元年度  
(平成31年度)

事業報告書  
収支決算書  
残高証明書  
監査報告書

公益財団法人 有隣会

公益財団法人有隣会 令和元年度（2019年度） 事業報告書  
 （平成31年4月1日～令和2年3月31日）

当会の中心的事業である「語り座大原本邸」事業は、展示や施設そのものを通じ、来館者に大原孫三郎・總一郎をはじめとする大原家の人々、業績を理解いただく場として公開し2年となった。また同館を会場として「くらしき未来教師塾」などのセミナーを開催し、地域の文化、産業、学術振興を支援する活動を実施している。

1. 語り座 大原本邸事業

(1) 入館者数、入館料収入

「語り座 大原本邸」の入館者数は、知名度の向上、大原美術館入館者の誘客、また前年の西日本豪雨による風評被害の影響からの回復により、12月まで前年対比約10%の増加で推移した。しかし1月後半から新型コロナウイルスの影響のため、倉敷美観地区へに来訪者は激減し、当館への入館者数も大幅に減少した。結果、通年での入館者数はほぼ前年並みの32,140人（前年対比96.3%）に止まった

入館料収入も前年並み15,647千円（前年対比95.8%）となったが、ブックカフェでのコーヒー・座敷での抹茶等の売上は3,936千円（同144.1%）と好調だった。

<入館者数（有料）> (人)

合計	一般		高校生以下	
	個人	団体	個人	団体
32,140	30,238	875	799	228

(2) くらしき未来K塾（「くらしき未来教師塾」を改称）

より参加しやすくなるよう長期的なスケジュールを組むなど、開催方法、内容の改善を図りながら「くらしき未来K塾」を継続開催した。

講師は「教育改革」や「地域振興」などに先進的に取り組んでいる方々で、各回とも参加者は教師から社会人、経営者まで多岐にわたり、現代社会の課題について熱心な討議が繰り広げられた。

また「くらしき未来K塾」に加え、高校、大学の課外事業や文化講等の場としても当館が利用されている。

<くらしき未来K塾 開催状況>

回	開催日	テーマ（演題）	講師
第5回	4/13	わかりあえないことから	平田 オリザ氏 (劇団「青年団」主宰)
第6回	5/25	人が人を育てる	石井一郎氏 (県立岡山朝日高校教諭)
第7回	8/31	ドラッカーに学ぶマネジメントの知恵	浅野 良一氏 (兵庫県立大学大学院教授)
第8回	12/21	しまね発 未来のつくり方	奥田 麻衣子氏 (鳥根県教育委員会)

第 9 回	1/26	地域社会人の仕事	辻 信行氏 (㈱くま代表)
第 10 回	2/22 を	「アメリカで一番住みたい町」の 社会参画型教育	吉川 幸氏 (岡山大学実践型教育 プランナー)
第 11 回	3/28	働く・学ぶ・繋がる ～「新型コロナウイルス」を契機に考える 日常の未来～	中澤 二郎氏 (元新日鉄ソリューションズ 人事部長)

### (3) 特別展

大原孫三郎・總一郎をより深く理解いただくことを目的に、通常展示に加え、3 回の特別展を開催した。

来館者の大幅増加には至らなかったが、總一郎を知る方、熱心な大原家ファンの来訪が目立った。

開催期間	特別展名
7/30～8/18	大原總一郎展
10/8～10/20	孫三郎の父と總一郎の母展
12/24～1/19	大原孫三郎展

## 2. 第 64 回大原孫三郎・總一郎記念講演会

7 月 27 日、倉敷公民館大ホールにて、講師に菅 裕明氏（東京大学大学院理学系研究科教授、㈱ペプチドリーム創業者・元社外取締役、ミラバイオロジクス㈱創業者・取締役）を招き、「異端は認められた瞬間に先端に変わるーアカデミア研究者としてのイノベーション」と題する講演会を開催した。聴衆は約 150 人。

専門性の高い講演内容であったが、菅氏は岡山出身で、学者であると同時に実業でも成功を収めており、注目度も高く、聴衆からは好評を得た。

講演は DVD 化し記録として保存した。

また講演に先立ち、同講師と高校生、大学生等とのプレセッションも開催した。

## 3. 所蔵資料の整理、調査、研究及び公開

大原家が所蔵している大原孫三郎・總一郎に関する書簡・書籍など諸資料の分類整理を進め、本年度は 2,700 件の目録を整備した。

また、「語らい座 大原本邸」での特別展において、大原家所蔵品等の公開を行っている。(上記 1.(3))

## 4. 大原總一郎日記研究会

国士舘大学教授阿部武司氏を中心とする 7 名の研究者グループにより、大原總一郎日記（全 100 冊）の研究を継続している。本年度は 3 回の研究会を開催し、またこれまで

の研究成果を含め、「日記 No,1～3 全文仮翻刻」を製本、刊行した。

#### 5. その他

大原美術館を中心に、倉敷民藝館、倉敷考古館が参加する文化庁の「博物館クラスター連携支援事業」に4館実務者会議を通じ参加した。

以上

令和元年度  
(平成31年度)

正味財産増減計算書・貸借対照表

及び財産目録等

公益財団法人 有隣会

# 正味財産増減計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

公益財団法人 有隣会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	4,590,000	4,590,000	0
特別会費	4,000,000	4,000,000	0
普通会費	200,000	200,000	0
賛助会費	390,000	390,000	0
事業収益	19,584,320	19,062,000	522,320
受取入館料	15,647,920	16,332,100	△ 684,180
記念館事業収益	3,936,400	2,729,900	1,206,500
受取補助金等	18,015,454	24,889,410	△ 6,873,956
受取寄附金	46,543,885	29,300,000	17,243,885
雑収益	8,500	8,650	△ 150
雑収益	8,500	0	8,500
受取利息	395	1,031	△ 636
経常収益計	88,742,554	77,851,091	10,891,463
(2) 経常費用			
事業費	78,394,944	73,988,315	4,406,629
人件費	33,478,919	30,877,156	2,601,763
法定福利費	3,012,086	1,074,525	1,937,561
福利厚生費	970,976	466,222	504,754
材料仕入	901,220	471,998	429,222
水光熱費	1,475,353	1,420,344	55,009
清掃費	1,077,970	1,066,500	11,470
修繕費	320,348	586,440	△ 266,092
諸謝金	260,507	411,370	△ 150,863
旅費交通費	732,475	456,331	276,144
通信運搬費	581,741	533,369	48,372
印刷製本費	636,346	571,115	65,231
会議費	0	22,800	△ 22,800
広報費	1,061,207	2,141,432	△ 1,080,225
賃借料	638,610	528,000	110,610
リース料	1,045,636	996,948	48,688
調査費	300,000	780,344	△ 480,344
消耗品費	862,688	1,635,334	△ 772,646
諸会費	70,000	50,000	20,000
租税公課	3,522,800	157,800	3,365,000
保険料	19,710	18,770	940
手数料	216,182	181,970	34,212
雑費	9,910	173,250	△ 163,340
減価償却費	26,854,127	26,861,623	△ 7,496
業務委託費	0	2,261,485	△ 2,261,485
会場関係費	121,515	107,277	14,238
接遇費	224,618	135,912	88,706
管理費	3,686,878	1,249,930	2,436,948
修繕費	0	5,400	△ 5,400
通信運搬費	256,442	279,886	△ 23,444
印刷製本費	0	0	0
会議費	9,152	12,740	△ 3,588
消耗品費	317,520	168,544	148,976
租税公課	2,060	400	1,660
手数料	874	5,616	△ 4,742
雑費	874,343	777,344	96,999
支払利息	2,226,487	2,612,846	△ 386,359
経常費用計	82,081,822	77,851,091	4,230,731
評価損益等調整前当期経常増減額	6,660,732	0	6,660,732
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	6,660,732	0	6,660,732
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
固定資産除却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0
過年度遡及特別損失	6,660,732	0	6,660,732
経常外費用計	6,660,732	0	6,660,732
当期経常外増減額	△ 6,660,732	0	△ 6,660,732
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	146,786	146,786	0
一般正味財産期末残高	146,786	146,786	0
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	62,120,617	△ 80,136,071
受取国庫補助金	0	62,120,617	△ 80,136,071
受取寄附金	0	0	0

基本財産運用益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 18,015,454	0	0
一般正味財産への振替額	△ 18,015,454	0	0
当期指定正味財産増減額	△ 18,015,454	62,120,617	△ 80,136,071
指定正味財産期首残高	65,120,617	3,000,000	62,120,617
指定正味財産期末残高	47,105,163	65,120,617	△ 18,015,454
Ⅲ 正味財産期末残高	47,251,949	65,267,403	△ 18,015,454

## 貸借対照表

2020年3月31日現在

公益財団法人 有隣会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	6,269,865	10,849,357	△ 4,579,492
売掛金	1,700	82,000	△ 80,300
商品	35,942	113,917	△ 77,975
前払費用	80,000	35,000	45,000
流動資産合計	6,387,507	11,080,274	△ 4,692,767
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金(基本財産)	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
建物	133,180,173	141,994,008	△ 8,813,835
建物附属設備	69,545,477	92,656,986	△ 23,111,509
構築物	6,773,674	7,419,017	△ 645,343
機械及び装置	2,188,107	0	2,188,107
器具及び備品	26,641,063	27,709,454	△ 1,068,391
商標権	751,744	845,712	△ 93,968
ソフトウェア	92,880	2,062,800	△ 1,969,920
その他固定資産合計	239,173,118	272,687,977	△ 33,514,859
固定資産合計	242,173,118	275,687,977	△ 33,514,859
資産合計	248,560,625	286,768,251	△ 38,207,626
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
買掛金	217,873	338,313	△ 120,440
預り金	190,803	262,535	△ 71,732
流動負債合計	408,676	600,848	△ 192,172
2. 固定負債			
長期借入金	200,900,000	220,900,000	△ 20,000,000
固定負債合計	200,900,000	220,900,000	△ 20,000,000
負債合計	201,308,676	221,500,848	△ 20,192,172
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	44,105,163	62,120,617	△ 18,015,454
指定正味財産合計	47,105,163	65,120,617	△ 18,015,454
(うち基本財産への充当額)	(3000000)	(3000000)	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産	146,786	146,786	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	47,251,949	65,267,403	△ 18,015,454
負債及び正味財産合計	248,560,625	286,768,251	△ 38,207,626

## 財産目録

2020年3月31日現在

公益財団法人 有隣会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
	現金		運転資金	248,905
	預金	普通預金 中国銀行倉敷駅前支店	運転資金	5,021,940
		普通預金 中国銀行倉敷駅前支店	運転資金	999,020
	売掛金		入館料等	1,700
	商品		珈琲豆等	35,942
	前払費用			80,000
流動資産合計				6,387,507
<b>(固定資産)</b>				
<b>基本財産</b>				
	定期預金(基本財産)	定期預金 中国銀行倉敷駅前支店	公益目的保有財産で、運用益を公益目的事業の財源として使用している	3,000,000
<b>その他固定資産</b>				
	建物	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産であり、展示等の事業施設に供している。	133,180,173
	建物附属設備	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産であり、展示等の事業施設に供している。	69,545,477
	構築物	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産であり、展示等の事業施設に供している。	6,773,674
	機械及び装置	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産であり、展示等の事業施設に供している。	2,188,107
	器具及び備品	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産であり、展示等の事業施設に供している。	26,641,063
	商標権		公益目的保有財産	751,744
	ソフトウェア		公益目的保有財産	92,880
固定資産合計				242,173,118
資産合計				248,560,625
<b>(流動負債)</b>				
	買掛金		公益目的事業を行うために必要な諸経費に対する未払金	217,873
	預り金		源泉所得税、社会保険料等	190,803
流動負債合計				408,676
<b>(固定負債)</b>				
	長期借入金	個人より借入	記念館事業における設備投資の為	200,900,000
固定負債合計				200,900,000
負債合計				201,308,676
正味財産				47,251,949

## 財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記  
該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現金預金	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
	0	0	0	0
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する 額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	0
合 計	3,000,000	3,000,000	0	0

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(直接法により減価償却を行っている場合)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
建物	146,674,199	13,494,026	133,180,173
建物附属設備	83,542,011	13,996,534	69,545,477
構築物	8,064,360	1,290,686	6,773,674
機械及び装置	4,918,320	2,730,213	2,188,107
器具及び備品	49,226,950	22,585,887	26,641,063
無形固定資産	4,957,280	4,112,656	844,624
合 計	297,383,120	58,210,002	239,173,118

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)

該当なし。

9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務  
該当なし。

10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
該当なし。

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
該当なし。

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高  
該当なし。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

記念館事業に対する国庫補助金のうち18,015,454円を一般正味財産に振替。

14. 関連当事者との取引の内容

属性	氏名	取引内容	勘定科目	取引金額	金利
評議委員	大原謙一郎	資金の借入	長期借入金	200,900,000	元金の1%

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引  
該当なし。

16. 重要な後発事象  
該当なし。

17. その他  
該当なし。





令和2年5月29日

公益財団法人有隣会  
代表理事 大原あかね 殿

公益財団法人有隣会

監事 井上 信二



監事 鴨井 省三



## 監査報告書

私たちは、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの令和元年度における公益財団法人有隣会の会計および業務について監査を行いましたので、下記のとおり報告いたします。

### 記

#### 1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きによって計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会およびその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きによって業務執行の妥当性を検討した。

#### 2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書およびその内訳表並びに財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致して法人の決算状況および財産状態を正しく表示し、事業報告書の内容もまた正確に記載されていると認める。
- (2) 理事の業務執行に関する不正の事項あるいは法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認める。

以上